

物部川清流保全推進協議会部会「濁水対策を進めるWG」要旨（第4回）

日 時： 平成23年12月26日（月）13：30～15：30

場 所： のいちふれあいセンター2階研修室（香南市野市町）

出席者： 別紙のとおり

内容

1 報告事項

（1）物部川濁水対策検討会について、物部川濁水対策検討会（県河川課事務局）で検討している濁水対策のうち、河川課と公営企業局電気工水課の取り組みについて説明があった。

出席者からは、「物部川の濁水問題について、大雨が降ったら川が濁るのは当たり前だとして流域の課題とはとらえていない人がいる。しかしながら、大雨による支流の濁りがなくなっても下流の濁りは長く続いているわけで、そのことを下流域の人に知ってもらうためのわかりやすいものとして、支流からの流入濁度の変化がわかるデータと取組みを行うことによる変化を示す定量的データの提供を要望する。」との意見があった。

（2）事務局（環境共生課）より、前回WGの議事要旨説明を行った。

2 協議事項

（1）平成23年春の濁度調査の結果について調査結果を報告した。出席者からの主な意見は次のとおり。

- ・農作業が集中化する休日明けに濁度のピークがあることが分かる。
- ・後川放水路付近は代かきの期間中になだらかなピークを描く一方で、せせらぎ水路付近は休日明けになると濁度が急上昇することを繰り返している。これはそれぞれの調査地点に排水が流れ込むエリアの広さと関係しているのではないかと。調査地点ごとにかんがい面積を数値で入れるといいのではないかと。
- ・せせらぎ水路付近は生姜への転作が年々進んでおり、以前に比べて濁りはましになったように思う。

（2）平成24年に向けた代かき濁水対策について

◆各団体の広報計画について情報共有を行った。各団体とも例年どおりの内容を予定している。

（香美市）市広報24年2月号で例年どおりの記事を掲載予定。

（南国市）市広報24年3月号で例年どおりの記事を掲載予定。

（香南市）例年どおり。

（JA土佐香美）組合広報紙2月号に掲載予定。チラシがあれば種や苗を配るときに一緒に渡すことができる。

- ・従来どおりの広報に加えて、例えばCATVで画像を使った広報をすることなどについて各団体で検討する。

◆WGの取組について協議を行った。

- ・環境農業推進課が中心になって、農家に配るチラシの原稿作成を行う。チラシはJAで種や苗を配るときと一緒に配布するほか、WG参加団体も配布や掲示を行う。
- ・小学校で行う稲作体験のときに中央東農業振興センターやJA青年部が関わるので、その機会を活用して浅水代かきと止水板を使ったデモンストレーションを行う。
- ・せせらぎ水路付近の濁度の上昇が顕著であることから、せせらぎ水路に排水が流れ込むエリアを代かき濁水対策をモデル的に取り組むエリアの候補とし、この取り組みの実現に向けて、香南市の協力を得てエリアの特定と地権者／耕作者の情報収集をしてはどうか。
- ・野市小学校で2月4日に行われる「のいちエコまつり」で代かき濁水対策に関するパネル展示を行う。

◆平成24年春の濁度調査は、調査地点と頻度は23年調査と同じ内容で継続する。

- ・せせらぎ水路付近をモデルエリアとして取り組むにあたっては、当該エリアの情報をもう少し詳細に収集した方がよい。
- ・後川樋門付近の濁度は水門の開閉の影響も受けられると思われるので、水門開閉のルールについて次回WGで管理者からの情報を得たい。

【まとめ】

- ◆WGが行う濁水対策の取り組みについては、①チラシの作成・配布、②小学校の稲作体験と連動したデモンストレーションの実施、③せせらぎ水路に排水が流れ込むエリアを対象とした代かき濁水対策のモデル的な取り組み、④様々な機会を活用したパネル展示などによる広報を主なものとする。